

# Via Latina 22



2014年10月  
236号

総本部よりのお知らせ—マリア会

## アフリカとアジアでの司祭叙階式

2014年9月6日（日曜日）マリア会トーゴ地区では、会員Jonas KpatchaとRobert Sidakouの司祭叙階式のためカラ・トンベにある“救い主キリスト”小教区に集まり、Jacques Danka Longa司教の司式の下、20名の司祭が列席して荘厳ミサが執り行われました。小教区司祭のお祝いと歓迎の挨拶の後、マリア会地区長Mathias Dourma師が二人の司祭叙階候補者の呼び出しを行いました。



Jonas Kpatcha 士は2003年7月6日にマリア会の初誓願を立てました。その後、2006年まで養成の勉強を継続し、その後、彼はカラのシャミナード中学校で教えた後、もう一つのシャミナード中学校を開設するために、他2名の会員と共にベニン国のナティティンダーに派遣され、その初代の校長となりました。2011年、Jonas 士は神学勉強のためローマのシャミナード国際神学校に派遣されました。彼は2014年1月11日ローマにて助祭に叙階されました。Jonas 師は更に勉強を進めるためスイスに行くこととなります。

Robert Sidakou 士は、修練期の後、2004年7月10日マリア会の初誓願を立てました。アビジャンとカラで5年間哲学を学んだ後、彼はカラのシャミナード中学校で2007年から2011年まで教えました。そしてRobert 士は神学勉強のためローマのシャミナード国際神学校に派遣されました。彼はローマで2014年1月11日助祭に叙階されました。Robert 師は今年カラのシャミナード中学校付司祭となり教鞭をとりながらこの地区の志願者養成を担当していきます。



大勢の司祭が叙階式に参加しました。300名以上の参列者が韓国マリア会員と共に祈りを捧げました。

I lkyu John Bosco Shin 士 は、2014年9月20日、コヤン市の新しい地区本部、マリアニストセンターで司祭叙階を受けました。叙階式はウイジョンブ教区のKiheon Lee 司教の司式で行われました。教皇大使Oswaldo Padilla 大司教と



# 2014年世界マリアニスト祈りの日

## 10月12日アルゼンチンで開催

ファチマの聖母マリア巡礼堂は、アルゼンチンの首都ブエノスアイレスの南方にあるここビラ・ソルダーティというバリオ（一般的に、貧しい人々が多く住む地域）にあります。これはこの国でファチマの聖母に捧げられた最初の巡礼堂でした。

マリアニスト家族は50年も前からこのマリアの巡礼堂と関わりを持っていました。1960年代にブエノスアイレスのコレヒオ・マリアニスト校の生徒たちは学童たちに公教要理を教え、彼らを支えて来ました。その後1990年代にはこの協働は進展してマリア会修道者たちは小教区の二つの巡回教会での司牧活動と中学校での教鞭に携わって来ました。数カ年、マリア会の共同体がその地区に存在していました。

2009年1月、ブエノスアイレスに到着したマリアニストシスターたちは、ビラ・ソルダーティに拠点を構えました。2012年12月16日、現教皇フランシスコとなったBergoglio枢機卿は、アルゼンチ



ンのマリアニスト家族にファチマの巡礼堂の管理と奉仕活動の推進を委ねられました。この式典の間各枝の責任者は共同体と教会の前でその約束を誓いました。マリアニスト男女修道者と信徒マリアニストは私たちの母マリアに耳を傾けながら生活と使命を共有します。そして、ここビラ・ソルダーティのファチマ巡礼堂では、母マリアは更に私たちに言うのです：《イ

エスがあなた方に言う事は全てこれを行いなさい。》

## 福者シャミナード師の列聖調査



兄弟の皆さん、

私たちは福者シャミナード師の列聖調査を皆さんの祈りに託します。その調査については1年を通して教皇庁の医学審議会によって検証されます。9月の初頭、セントルイス司教区から概要が教皇庁に印刷物で提出されました。その概要はRachel Baumgartnerの申告書、医師たちやRachelの病の治癒を祈った人々の証言を含むものでした。証言には最も重要な医学的資料も収集されています。またそこには2名の医学専門家から提起された問題と治癒に関して医学的に説明出来ないとのBergamini医師の解答も含まれています。

727ページにのぼる概要書は教皇庁の医学審議会の医師たちに提出され、彼らはこのケースを審議し、2004年に起こったRachelのAskinの腫瘍からの治癒について医学的に説明が出来るか出来ないかの採決が行われます。

私たちは医学審議会の検証がどれほど時間がかかるのか知りません。私たちはこの審議が2014～2015年の学期中に行われるよう期待します。いずれにせよ、福者シャミナード師の列聖調査は、列聖請願者にとって教皇庁との単なる管理上の一つの問題なのではなく、創立者のカリスマを喜んで生きている全マリアニスト家族の祈りによって支えられるべきものなのです。

マリア会 アントニオガスコニ師 (列聖請願者)

### メールアドレスの変更

- 人事に関する全ての変更（修道者、辞令、住所、メールアドレスなど）は、新規の2014-2015年の国際名簿に掲載されません。

### 総本部通信、最近の送信

- 訃報 #18-24
- 9月11日：IOCE調査（全て3言語）マリア会教育局長Max Magnan士から全ての行政単位長とその教育長に宛てたもの。
- 9月5日：マリアニスト連帯と養成基金-2015年（全て3言語）マリア会財務局長Michael McAward士から全ての行政単位長とその財務長に宛てたもの。

### 総本部日程

- 9月14日-10月30日：総長評議員会のUS管区訪問
- 10月12日：世界マリアニスト祈りの日です。忘れないでください！

